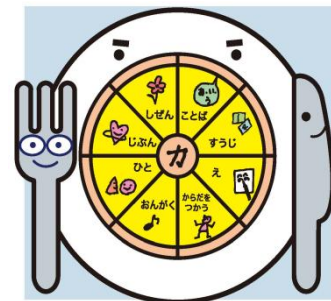


# どの子も伸びる ユニバーサルデザインな授業・集団づくり (前編)



協同学習とマルチ知能の活用で  
一人ひとりのちがいを活かす支援



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

涌井 恵

# 講義の流れ

- I. 通常の学級における  
ユニバーサルデザインとは
- II. 協同学習とマルチ知能の活用で  
一人ひとりのちがいを活かす授業(理論)
- III. 協同学習とマルチ知能の活用で  
一人ひとりのちがいを活かす授業(実践例)
- IV. 講義のまとめ

# 通常の学級における ユニバーサルデザイン

特別な支援が必要な児童生徒だけでなく、  
どの子どもにも過ごしやすく学びやすい  
学校生活・授業を目指すこと（佐藤，2007）

# I . 通常の学級における ユニバーサルデザイン

# ユニバーサルデザインの定義

The design of products and environments to be usable by all people, to the greatest extent possible, **without a adaptation or specialized design.**

THE CENTER FOR UNIVERSAL DESIGN (1997)

**改造したり特別にデザインしなくても、**  
最大限可能な限り、すべての人々が  
利用できるように、製品と環境をデザ  
インすること。あるいはそのデザイン。



# 学びのユニバーサルデザイン(UDL)の ガイドライン

米国のNPO法人のCAST (Center for Applied Special Technology) によるもの

CAST (2011). *Universal Design for Learning Guidelines version 2.0*. Wakefield, MA: Author.

“ユニバーサル”とは、

- × 皆にとって最適な1つの解決方法
- 多様な学習者のニーズを満たすための、  
複数のアプローチが用意されていること。
- 最初から 障害のある子もふくめたみんなを考える。

# 通常の学級における 授業のユニバーサルデザイン

実は… 学び方は一人一人ちがっている  
(Oliverio, 1999)。



- × 教師の教え方に、子どもが合わせる
- 子どもの学び方に応じて、教師の教え方を変えていく
- ◎ 学び方の違いに応じて、いろいろ学び方を**選べる**授業

# 通常の学級における 授業のユニバーサルデザイン

× 教師の教え方に、子どもが合わせる

○ 子どもの学び方に応じて、教師の教え方を変えていく

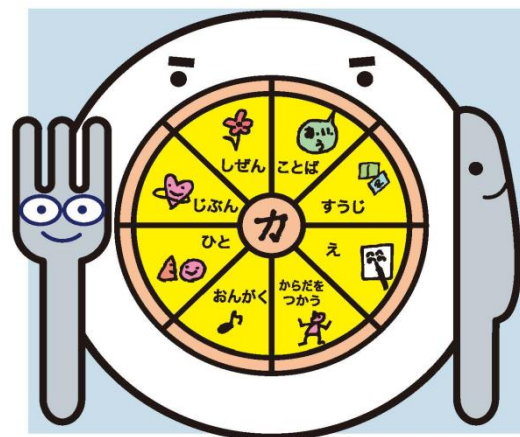
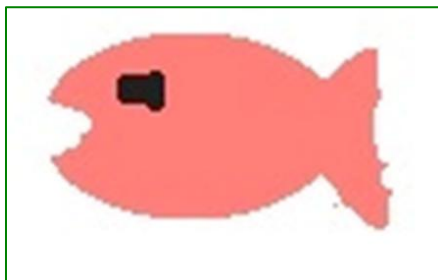
◎ 学び方の違いに応じて、いろいろ学び方を**選べる**授業



みんながわかる！できる！授業



## Ⅱ. 協同学習とマルチ知能の活用で 一人ひとりのちがいを活かす授業 (理論)



# 提案1

みんながわかる授業  
学び方を選べる授業



子ども同士学び合う力で  
ユニバーサルデザインになろう。

# 協同学習

## (Cooperative Learning)

友達同士で協力しないと達成できない課題が組み込まれている学習

- 学力向上
- ソーシャルスキルの獲得
- 仲間からの受容
- 自己肯定感
- 人の多様性の理解



等に効果あり

# 提案2

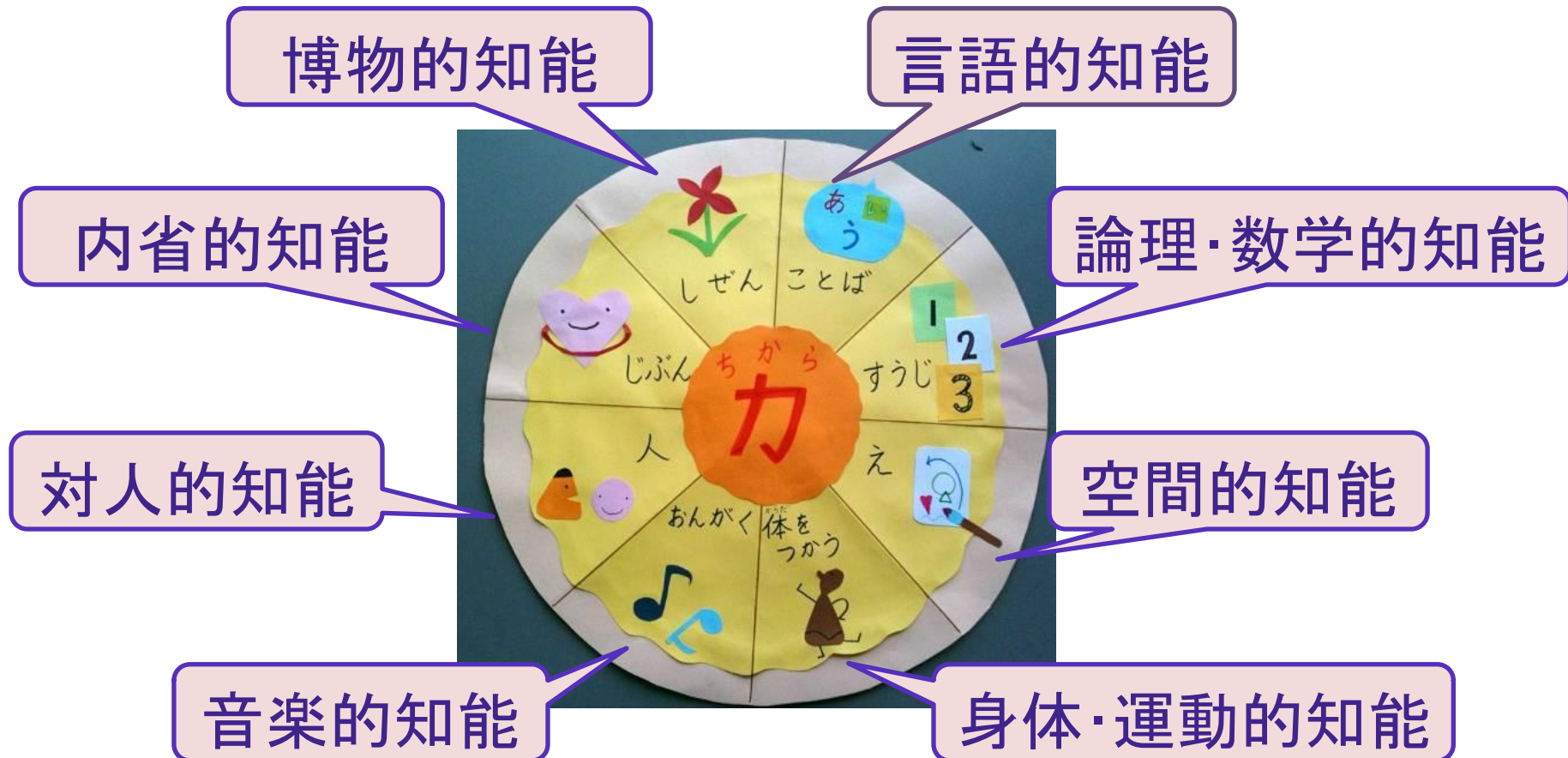
みんながわかる授業  
学び方を選べる授業



学び方を自覚させて(メタ認知)  
仲間の支援力をさらに高め、  
もっとユニバーサルデザインになろう。

# マルチ知能 ; multiple intelligences

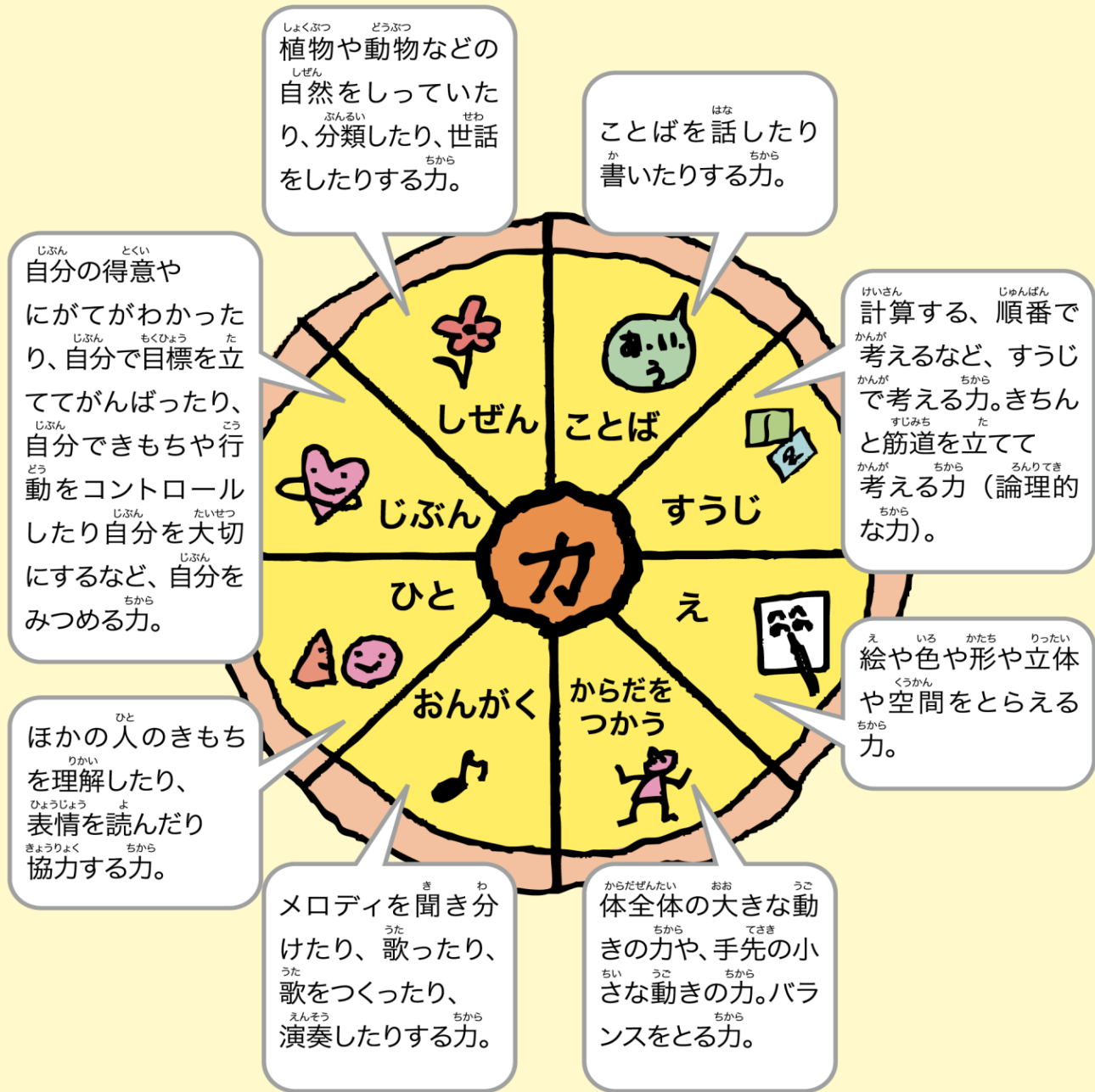
H.ガードナーが提唱。多重知能、多重知性、多元的知能、マルチ能力、多面的インテリジェンス、MIとも翻訳される。



# マルチ知能の8つの力

(H・ガードナーが提唱)

※中央のピザはアームストロング著『マルチ能力が育む生きる力』(小学館)を参考に作成。



# 子どもに配布した下敷きの例

きみには たくさんの 力が ある！

きみには どんな力が あるかな？どの子もみんな、力をもっています。なんと、それは ひとつではないんだ。だれもが 8+3の力をもっています。自分に どんな力があるか、見つけていきましょう。

著作権  
のため  
非表示

## マルチピザの8つの力

かをかながえたり、まなぶとき  
8つの力の中で、つかう力も  
れば、つかわない力もある。  
ど、いろんな力をたくさん  
た方が、わかりやすく、  
えやすくなる。

+

著作権  
のため  
非表示

## ちゅりオの3つの力

つかうときには、いつも  
いる力。「やるき」  
「ちゅうい」  
き・ちゅりオ)  
ザの力をつかえる  
、ささえてくれている力。

### やるきのコツ

- ① すきなことと べんきょうを  
むすびつけると、やるきが  
アップするよ。
- ② イライラ／よくよのときは、  
心をリラックス  
させよう。
- ③ がんばっていることを  
ほめてくれたり、はげまして  
くれるサポーターを  
みつけよう。  
→おうちの人、せんせい、  
ともだちなど

### きおくのコツ

- ① おぼえるときのコツ  
・マルチピザの8つの力を  
いっぱいつかおう。  
・「くりかえし」の天才に  
なろう。
- ② かんがえたり、けいさん  
したりするときのコツ  
・だいじなことは  
メモにかく。  
・やることのじゅんばんを  
チェックリストにかく。

### ちゅういのコツ

- ① よけいなものはしまう。
- ② じゅうようなことばや  
ポイントに しるしを  
つけて目立たせる。
- ③ 一どに一つのことをする。
- ④ よくねて、  
せいかつリズムを  
ととのえる。
- ⑤ ストップ、かんがえよう  
やるまえに、  
一どとまって  
かんがえよう！

Copyright© スイミー風呂プロジェクト 協力: 鹿沼市立みなみ小 JSPS科研費 24730774の助成による

子どもの実態  
と学年に応じ  
て子ども用の  
『「学び方を学  
ぶ」テキスト』  
(涌井, 2014)  
から抜き出す。

※注 このスライドの拡大版を配付資料として  
webからダウンロードできます。

# 「学び方を学ぶ」学習

- マルチ知能：  
きみには  
たくさんの力がある！  
いろいろな力を  
組み合わせるとよい。
- やる・き・ちゆ：  
(やる気：お皿，記憶：  
フォーク，注意：ナイフ)  
学ぶ(勉強する)ときは  
いつも使っている力





# 「学び方を学ぶ学習 (マルチ知能+やるきちゅ)」 を取り入れることで

## (1) どの子も学びやすい授業

- ・多様な認知に応える多様な学び方の指針
- ・一部の能力、特に「ことば」や「すうじ」の力に偏らない

## (2) 子ども達の意識

- ・人は得意、苦手とする能力の違うことを知る
- ・できないことは、特別なことではない
- ・違いを当たり前と受け止める



# 安心して自分を発揮できるクラス

違いを認め合い、自己効力感を育てる

「学び方を学ぶ」学習  
で個々人の学び方の  
違い・特性について知  
る。自分に合う学び方  
を選ぶ力を育てる。

協同学習

協同学習による  
授業の中に、  
「学び方を学ぶ」  
学習で得たこと  
を活かす。

学び方を学ぶ学習

マルチ知能 +

やる気・記憶・注意

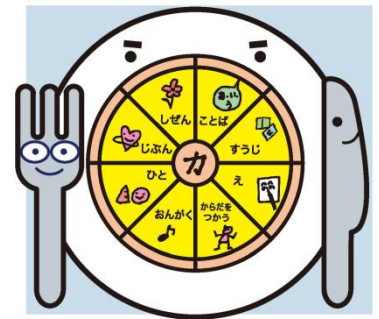
# みんなが育ち、伸びる ユニバーサルデザインな授業の3つのツボ

## 1. 焦点化・明確化

授業のねらい、子どもが何を学ぶのか出口を焦点化し、  
明確化する

## 2. 視覚化・マルチ(知能)化

視覚化に加えて、  
様々な知能が活用できる授業内容にする。



## 3. 共有化・協同化

協同的な活動を通して、体験や感情を共有し、  
親和的かつ個々の違いを尊重する仲間集団を育てる。

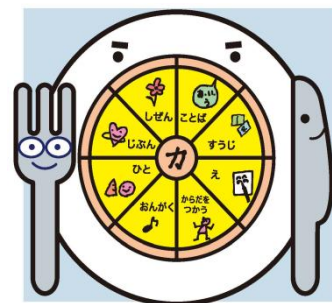
# もっと知りたい方へ：参考図書

- 1) Oliverio, A. (1999) L'arte di imparare. BUR Biblioteca Univ. Rizzoli.  
[川本英明訳 (2005) 『メタ認知的アプローチによる学ぶ技術』  
創元社.]
- 2) 西川純編 (2010) 『クラスが元気になる！ : 『学び合い』スタートブック』(学陽書房)
- 3) ソーシャルスキルとピアサポート—教師のためのインクルージョン・ガイドブック 金剛出版
- 4) 佐藤慎二 (2007) 提言:ユニバーサルデザインの授業づくりのために. 特別支援教育研究, 第596号, p.32-37, 日本文化科学社.
- 5) トーマス・アームストロング著 (2002)  
『マルチ知能が育む子どもの生きる力』小学館
- 6) 涌井恵編著 (2014) 『学び方を学ぶ: 発達障害のある子どももみんな共に育つユニバーサルデザインな授業・集団づくりガイドブック』  
ジアース教育新社
- 7) 涌井恵 (2014) 「学び方を学ぶ」テキスト: 学びの達人(ふろしき忍者)になれるコツ. ジアース教育新社

# どの子も伸びる ユニバーサルデザインな授業・集団づくり (前編)



協同学習とマルチ知能の活用で  
一人ひとりのちがいを活かす支援を



終わり

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

涌井 恵